



浪高だより

Aomori Pref. Namioka High School

第 2 号 5 月 29 日 発

〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-2

TEL 0172-62-4051(代表) fax 0172-62-1556

<http://www.namioka-h.asn.ed.jp/>

2020

創立90周年

浪岡高校

1 学年総合的探究

2・3 学年進路ガイダンス

1 学年「地域の歴史と祭りについて学ぶ」・・・5月17日(金)

1 学年生徒が総合的な探究の時間を活用し、中世の里なみおかの歴史と遺跡を知り、現代に引き継がれる北畠祭りの意義を学ぶことを目的に、「中世の館」を訪問しました。中世の館では、職員から浪岡の歴史と北畠祭りの発祥について学び、資料館を見学しました。



2 学年 ～職業を知る～・・・4月26日(金)

職業の種類を知るとともに、自己の興味・関心・適性を活かした職業ができるように、希望する業種ごとの説明を受けて進路志望選択に役立てることを目的に進路ガイダンスが行われました。大学・短大・専門学校など、12名の講師を招き進学の現状や決定のポイント、学費等について説明がありました。生徒は各学校別ブースから学校の情報を真剣な表情で確認していました。



3 学年 ～進路志望意識～・・・5月29日(水)

進学・就職それぞれの進路に必要な情報を得る機会として、進路志望達成の意識の高揚を目的に進路ガイダンスが行われました。進学希望者と就職希望者に分かれ、進学希望者に対しては、15の大学・短大・専門学校から学校説明及び受験先が決定している生徒には進学の現状や資格等について説明がありました。就職希望者には、就職講演及び実践形式での面接練習等に意欲的に取り組んでいました。



『全校清掃活動』・・・5月15日(月)

通学路及び学校周辺の冬期間にたまったゴミを拾うことで公共心を養い、地域に貢献することを目的に今年で7回目の全校清掃活動が行われました。

開会行事で生徒会長の木村新志くんは、「清掃活動を通して地域に貢献し、今日は皆で頑張りましょう」と挨拶をしました。生徒たちはクラスごと7コースに分かれて、疲れた様子も見せずに楽しく笑顔で空き缶等を拾い集めていました。清掃することで誰かを幸せにすることができると言われています。綺麗にすることで身の回りの物を丁寧に扱うなど責任のとれる人間になるのではないのでしょうか。清掃活動を通して、人間関係をつくり自分を成長させることをお願いします。



『生徒総会』・・・5月8日(水)

令和元年度の生徒総会が生徒会役員16名を中心に、浪岡高校の一員であることを自覚し、生徒会活動に係わる議案や今後の円滑な生徒会活動を目的に第1体育館において開かれました。議長のスムーズな進行により、各委員会の活動計画や予算案が審議され承認されました。クラスからの要望に対しても、担当の先生方から丁寧に説明され生徒も納得していました。最後に生徒年間スローガン「新風～つなげよう浪岡の伝統を～」が承認され終了しました。

『第1回防災訓練』・・・5月9日(木)

10連休後の5月9日(木)に、全校生徒及び教職員の防災意識を高めることを目的に地震と火災発生等を想定した第1回防災訓練を行いました。放送による避難指示の後、全校生徒が陸上グラウンドに避難し、地震発生直後から退避するまでの安全確保の方法を学びました。また、各クラスの代表者が水消火器を使った消火訓練に臨み初期鎮火の対応を身につける良い機会となりました。災害は、いつどのような形で起こるか予想が付きません。いざという時のために、普段から避難経路の確認や真剣に取り組む姿勢を身につけましょう。

『朝の挨拶運動』・・・5月15日(水)・16日(木)

生徒の通学路の安全指導及び朝の声かけ運動を通して、基本的な生活習慣の確立を目的に浪岡駅から通学路等7カ所で朝の挨拶運動が行われました。多くの保護者のご協力をいただき教職員および風紀委員で、爽やかな挨拶と声かけをしていました。生徒も笑顔で挨拶をするなど、教職員や保護者の方々が見守る中、元気よく登校していました。保護者の皆様方ご協力ありがとうございました。



『空き缶壁画』・・・5月10日(金)

今年で30回目となる「空き缶壁画」制作準備が始まりました。全校生徒に対し、担当者からデザインや制作の一連の流れを丁寧に説明し、各学年毎の作業に入りました。空き缶は、縦70缶×横300缶の2万1千個が必要であり、正門横に「空き缶回収ボックス」を設置しましたので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。特に、赤・黒色のアルミ缶が不足しており、ご協力よろしく願っています。

『高校総体・壮行式』・・・5月17日(金)

5月31日(金)～6月3日(月)の日程で行われる第72回青森県高等学校総合体育大会に向け選手が日頃の練習の成果を十分発揮できるように壮行式が行われました。部活動紹介ムービーの後、各部主将から日頃の練習成果を十二分に発揮し、悔いの無い試合をしたいなど大会への抱負を語っていました。次に校長先生から「大会では最高の力を発揮し、素晴らしい試合をしてください」と激励の言葉があり、生徒を代表して、生徒会副会長の小山内詩音さんから「練習の成果を出し切り、悔いの残らない試合をしてください。全校生徒が応援しています。」と激励をしていました。選手宣誓は、バドミントン部主将の大平啓人君とバレー部主将の藤田鮎柚さんから、「指導して下さった全ての方々に感謝し、全力でプレーします。」と力強く宣誓しました。最後に応援団からのエールで選手が力を発揮できるように全校一丸となって選手を応援しました。

『JUMP チーム』・・・5月9日(木)

青森南警察署刑事生活安全課係長さんより、JUMP チームの活動目的について説明し、本校の生徒12名に委嘱状が交付されました。「JUMP チーム」とは、学校での広報活動や街頭キャンペーンなどを通じ、社会でのルールを守り、少年たち自信がお互いに非行防止について呼びかける中高生のボランティア活動のことです。地域と一緒に青森県全体に非行防止の輪が広がることを願っています。



『県高校春季大会結果』・・・バドミントン部 3年連続 優勝！

県内の各地で青森県高校春季大会が開催されました。バドミントン部は実力通りの力を発揮し、学校対抗及び個人ダブルス(奈良岡功大・武藤映樹)・個人シングルス(奈良岡)が優勝するなど、本校チームが上位を独占しました。野球部(部員6名)は今年度も浪岡・西北連合チーム(浪岡・金木・鯉ヶ沢・深浦)として地区予選に参加し、連合チームをまとめ中心となり活躍していました。また、バレー部は1年生の未経験者を入れての対戦ではありましたが善戦し、今後の大会を期待しています。その他、陸上部やテニス部、バスケットボール部など、各競技で、積極的な試合展開が行われており高校総体で活躍することを期待しています。

バドミントン部(マエダアリーナ)
決勝戦 浪岡3-0東奥学園

バスケットボール部(弘前高校)
1回戦 浪岡51-149五農

バレーボール部(八戸東体育館)
1回戦 浪岡0-2千葉学園

野球部(青森県営球場)
1回戦 浪岡・西北連合4-14 五工

3年連続優勝【バドミントン部】

